

# 1 次関数の活用(1)

【1】ばねののびる長さは、つるしたおもりの重さに比例することが知られている。  
これをもとに、次の問いに答えなさい。

おもりの重さ $x$ g	0	2	4
ばねの長さ $y$ cm	7	9	11

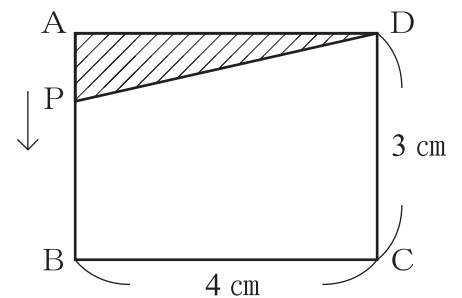
(1) 右の表は、おもりの重さ  $x$  g とばねの長さ  $y$  cm の関係を表したものである。  
 $x$  と  $y$  の関係を式に表しなさい。

答え \_\_\_\_\_

(2) このばねに 7 g のおもりをつるしたときのばねの長さを求めなさい。

答え \_\_\_\_\_

【2】右の図のような長方形 ABCD がある。点 P は点 A を出発し、毎秒 1 cm の速さで、長方形の周上を A から D まで移動する。このとき、点 P が点 A を出発して  $x$  秒後の  $\triangle APD$  の面積を  $y$  cm<sup>2</sup> とする。



点 P が次の辺にあるときの、 $x$  の変域を答えなさい。  
また、その時の  $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

- ① 辺 AB    ② 辺 BC    ③ 辺 CD

答え①  $x$  の変域 \_\_\_\_\_

式 \_\_\_\_\_

答え②  $x$  の変域 \_\_\_\_\_

式 \_\_\_\_\_

答え③  $x$  の変域 \_\_\_\_\_

式 \_\_\_\_\_